

令和2年度(2020年度)事業計画

【社会福祉法人育夢 運営理念】

「生き生きはじけて、変・身・心!!」

障害のある人たちが集団の中で、共に楽しみ、共に生きることの体感を通して心身のリフレッシュを図り、生きがいを見出し、自信をもって生活できる支援を実現します。

【社会福祉法人育夢 基本方針】

1. 多様な福祉サービスが、その利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう、創意工夫した事業を展開します。
2. 利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう、様々な経験や体験の場を提供し豊かな暮らしの実現に努めます。
3. 地域住民との交流を通して相互理解を深め、充実した地域福祉社会の構築の一端を担えるよう、地域貢献活動に積極的に取り組みます。
4. 中長期的（1~10年）計画として、災害対策、人員体制の安定、事業拡張の可能性についてプロジェクト体制で取り組みます。

【糸をかし（生活介護事業所）基本方針】

1. 障害を持つ人が、その人にあった日常生活を営むことができるよう介護サービスや訓練、表現活動、創作活動、生産活動などを提供します。
2. 日中活動を通して心身のリフレッシュを図ると共に、生きがいを見つけ、自信をもって生活できるように支援します。
3. 利用者は、集団の中で共に楽しみ、共に生きることを体感できる支援に努めます。
4. 災害対策として、現状に沿った防災マニュアルを作成します。

【ほづみのお宿（共同生活援助事業所）基本方針】

1. 障害を持つ人が、住みたいと思う場所で、当たり前前の生活が送れるよう、住まいの確保や住宅環境の整備に努めます。
2. 障害特性や生活体験、加齢などの身体変化に寄り添った支援を行い、利用者やその家族が安心して利用できるサービス提供に努めます。
3. 地域社会とのつながりを大切にし、主体的な生活が実現できるよう、日中活動やガイドヘルプ等の社会資源を利用しながら、豊かな地域生活への支援を行います。
4. 災害対策として、現状に沿った防災マニュアルをプロジェクトで作成します、

【共有事項 定期連絡会】

会議名	曜日時間	内 容	参加者
理事会	年間 3 回	事業計画予算報告決算	理事
評議員会	年間 1 回	事業報告・決算報告	評議員
経営会議	月 1 回 17:30~	経営全般の現況確認	理事長・管理者 課長(総務・糸・GH)
定例会	偶数月第 3 土 13:30~	現況報告	糸常勤・保護者
父親の会	年間 3 回	現況報告・授産収益検討	父親 常勤職員
保護者会	奇数月第 2 水 10:30~	予定確認・連絡	保護者
ととろ会	最終金 10:30~	活動・行事内容	利用者
課長会議	月 1 回 13:30~	現況・事業計画・報告・収支	課長
責任者会議	流動的 17:30~	活動確認・周知	課長・主任・副主任
プロジェクト会議	月 1 回 17:30~	中長期（～10 年）事業目標 ・防災マニュアルの作成 ・GH 高齢化への課題と対策 ・事業拡張の可能性の模索	関係者
育夢職員会議	月 1 回 17:00~	予定確認・研修報告 支援検討	糸全職員
活動会議	流動的 日中	活動確認・進捗把握	活動担当職員
糸をかしスタッフ連絡会	毎日 17:00~	予定確認・個別支援内容	糸常勤
GH保護者合同会議	偶数月第 3 土 10:30~	現況報告	夜勤職員・保護者
GH支援会議	各 GH 月 1 回 10:00~	利用者の課題共有、支援の統一	各ホーム職員

糸をかし（生活介護事業所）事業計画

【1. 所在地】

大阪府豊中市服部寿町3丁目18番12号

電話 06-6868-2153

FAX 06-6398-7006

e-mail itookashi@s9.dion.ne.jp

URL <http://www.haghag.jp/>

【2. 利用者】

定員 20名 契約者数 25名（男子9名 女子16名）

利用者負担金

- ・実費請求（昼食費：1食500～550円・行事参加費）
- ・旅行積立金（月5000円）

【3. 組織体制】 別紙 ①

【4. 事業開始年月日】 平成7年4月1日

【5. 事業運営基本計画】

1. 利用者や家族の考えや意見を傾聴し、個別支援計画に基づいてニーズの実現を目指す。
2. 職員体制の安定と施設内外における研修の充実を図り支援の質を高める。
3. 生活介護事業所「糸をかし」の取り組みについて、表現活動（人形劇・ちんどん・音楽・創作等）とこんにやく製造及び販売促進を中心に、年齢や体力に応じた活動を行う。
4. 共同生活援助事業「ほづみのお宿」が豊かな自立生活の場となるよう連携を深める。
5. 啓発活動及び地域貢献を目的とし、自主企画などによる地域住民との交流機会を設け、また地域行事へ積極的に参加する。
6. 社会参加の機会拡張を目指し、『第2回 笑う門には福来な祭』の実施を行う。
7. 福祉防災士を招き、糸をかしの実態に沿った実践的な防災マニュアル作成に着手する。

【6. 利用者の活動・支援】

①生活支援

- ・心身の変化に留意しながら、各人のエンパワメントを高める環境づくりと、

支援の充実を図り、豊かな生活が実現できるように努める。

- ・利用者や家族が安心して施設利用ができるように、相談支援の充実を図る。相談内容において、必要な社会資源との連携を深め改善、解決に努める。
- ・外部講師による取り組みを通して、個々の能力を引き出す機会とし、またその可能性を深める工夫をする。
- ・身体機能の低下を防ぎ維持もしくは強化に努める。

②表現活動

(人形芝居 ぬくぬく座)

- ・月4回毎週水曜日、外部講師を招いて、専門的な指導を受けながら職員の技術力や利用者の表現力などを深め質の向上を目指す。
- ・ぬくぬく座座員が講師となり、他事業所にて継続的なワークショップの計画実施を行う。
- ・新規グループでの新作（芝居仕立て・音楽仕立て）の発表を目指す。
- ・年間10回以上の公演活動を目指す。

(語り部)

- ・月4回毎週金曜日、外部講師を招いて、個性を生かした表現手段に取組み、新たな可能性を見出す。また表現の豊かさを育む。
- ・いろいろなことを経験し、楽しみながら発表できる作品作りを行う。
- ・所内外での作品発表の機会を目指す。

(即興音楽 うじゃ)

- ・月1回外部講師を招いて、音楽、ダンスの楽しさを実感しながら自己解放につなげていく時間とする。
- ・発表の機会として「素のままフェスタ」そのほか外部イベントへの出演を目指す。

(リズム体操)

- ・月4回毎週火曜日を招いて、主体的に身体を動かし運動不足を解消するとともに、リフレッシュを図る。

(ちんどん てんてこまい座)

- ・公演内容を工夫し、公演先開拓及び依頼公演の定着を目指す。
- ・地域イベントへの積極的参加と体験ワークショップの実施。

(サインランゲージダンス)

- ・外部講師を招いて、手話を用いたの新たな表現方法の可能性を深める機会とする。
- ・9月開催の「素のままフェスタ」への出演を目指す。

③生産活動・創作活動・販売活動・余暇活動

(生産活動 こんにやく作業 工房糸・こん・こん)

- ・商品の開発、外部商品とのコラボなどの工夫を行い、販路の拡張や取組みへの検討を行う。
- ・製造から販売までメンバーの携わる場面をより増やせるよう、作業の工夫を行い、事業の充実を目指す。
- ・季節や用途に合わせたギフトやセット販売に取り組み、収入の増加を目指す。
- ・品質管理、衛生管理の徹底。

(創作活動 天性の創造)

- ・利用者個々の特性や意欲を活かせる時間とする。また、創作活動に特化したグループで書作品や手工芸等の商品化を目指し、個々の特性に合った手法で取り組む。
- ・絵画や造形など、それぞれの持ち味を深める機会とし、個性あふれる作品作りを目指す。
- ・公募展や作品展等への出展・出品を積極的に行い作品評価を受ける機会を増やす。
- ・創作品（書・デザイン・絵画）を活動PR(リーフレット、イベント案内)や人形劇制作などに活かす。

(その他の活動)

- ・月1回外部講師が来所。アロマオイルを用いたハンドマッサージによるリラクゼーションを通して、気持ちの安定リフレッシュを図る。また、利用者自らがマッサージを学ぶ機会とする。
- ・上記以外の外部講師について必要に応じて積極的に導入する。

(販売活動)

- ・こんにやく販売を工房やグループホーム、また公共施設や教育機関、会社など定着した販売機会を増やす。
- ・ブログやフェイスブックなど活用し販売状況の受発信に取り組む。

- ・豊中市小売商業団体連合会に加盟することで、地域行事などの情報収集や販売機会の拡張、定着を図る。
- ・自主事業での模擬店、産直販売など行い地域貢献、交流につなげる。

(清掃活動)

- ・施設周辺の委託清掃のゴミ拾い・草抜き・除草剤の散布などを定期的行う。

④余暇支援

(余暇活動)

- ・利用者や家族の意向を聞きながら、新しい経験を増やし、経験の幅をひろげる余暇支援を目指す。
- ・居宅派遣事業所と連携調整を行い、個々の余暇活動のニーズの実現を図る。
- ・グループ外出を企画し、社会経験を積む機会、季節を楽しむ機会を設ける。
- ・年齢、体力等、個々のニーズに添い、利用者全体での宿泊旅行を実施する。

(土曜日・休日支援)

- ・休日(祝日・代休)は必要に応じて開所し状況に応じた支援を行う。
- ・土曜日は開所とし、平日と異なる社会参加の機会提供や、緩やかな時間の中で仲間と活動を行い、協調性や仲間意識を養う。

【7. 営業時間・日課・年間行事】

(営業時間)

- | | |
|--------|------------------|
| ① 営業時間 | 午前9時から午後6時 |
| ② 休日 | 日曜、祝日 |
| | 創立記念日 4月 3日 |
| | 夏期休暇 8月12日～16日 |
| | 冬期休暇 12月29日～1月3日 |

- ③ 振替休日 ・土日祝の人形劇公演、イベント等全体活動の翌月曜日を原則とする。

(日課)

	活 動 内 容
8 : 3 0	① 送迎出発
8 : 5 0	② 送迎出発 (徒歩同行) 送迎者到着・健康観察 (検温・体重・血圧など)
1 0 : 0 0	朝会
1 0 : 3 0	活動開始 歩行・トレーニング・足浴・訪問口腔ケア・買い物 こんにやく製造 レクリエーション・農耕作
1 1 : 3 0	午前活動終了
1 2 : 0 0	昼食 準備片付け・服薬・口腔ケア
1 2 : 4 5	休憩 散歩・買い物・パソコン・手芸・お絵かき・小児鍼
1 3 : 1 5	活動開始 人形劇・語り部・創作 販売・アロマ・体操・音楽 こんにやく製造 創作活動
1 4 : 4 5	活動終了
1 5 : 0 0	終会
1 5 : 3 0	送迎出発 (徒歩同行) 清掃・事務処理・記録簿整理
1 7 : 1 0	スタッフミーティング 業務確認
1 7 : 4 0	残務整理
1 8 : 0 0	業務終了

※必要に応じてグループホーム支援、通院支援を行う。

(年間行事) 令和2年度糸をかし行事計画

月	行事	その他(企画・地域行事)
4	お花見	日曜地域販売
5	新緑ハイキング 宿泊旅行	日曜地域販売
6	防災訓練	日曜地域販売
7	ソーメン流し	日曜地域販売
8	カレー作り	日曜地域販売 地域商店街イベント
9	防災訓練 素のままフェスタ	日曜地域販売 豊島校区敬老の集い
10	山南ピクニック	日曜地域販売 地域商店街イベント
11	ぬくぬく劇場：音大ミニコンサート	日曜地域販売
12	自主公演(梅田呉服座) クリスマス忘年会	日曜地域販売
1	服部えびす参拝 新年会	日曜地域販売 地域商店街イベント
2	節分豆まき	日曜地域販売
3	ひな祭り 防災訓練	日曜地域販売

※その他：豊島校区世代間交流 随時 グループ外出

【8. 健康管理】

- ・健康チェック表（体温・排泄・生理・睡眠など）を作成し、自宅やグループホームでの日々の状態把握や情報共有を図る。
- ・月1回嘱託医師の訪問と看護師を中心に、個々の課題に着目し食事内容の見直しや運動プログラム、また継続的な通院など医療機関との連携を深める。
- ・年1回の集団定期健康診断の実施及び、必要に応じた個別健康データの把握。
- ・感染症予防への知識の強化と、発症時の適切な対応について全体周知を図る。

（健康維持活動）

- ・年齢、体力等個々に応じた運動プログラムを実施し、体力の維持、向上をはかる。
- ・午前中はグループウォーキングや足浴の時間を作り全体で健康の促進、体力作りに努める。
- ・鍼灸師（柔道整復師）に小児鍼やマッサージを施術してもらい、身体状況の改善と把握に努める。
- ・週1回訪問歯科サポートによる口腔ケアを実施。口腔内を清潔な状態に保ち身体全体への健康維持に努める。

【9. 防災管理】

- ・非常災害対策計画（火災・地震・台風・津波・洪水）を作成し、災害時の安全確保に努める。
- ・年2回の防災訓練実施（うち1回は消防署員立会い）
- ・迅速な対応ができるよう日頃より訓練補助的な機会を設ける。
- ・近隣事業所との連携を深め、災害時の協力体制を築く。

【10. 地域交流】

- ・挨拶の励行
- ・施設周辺の美化
- ・地域行事への積極的な参加（イベント時の販売参加、ちんどんでのPR）
- ・自主事業について、家族連れで参加できる企画を通して、楽しみながら障害、糸をかしへの理解を深める機会の定着を目指す。

【11. 研修】

- ・必要に応じた施設内外研修の充実と、外部研修への積極的な参加促進を行い主体的な学びの機会を設ける。
- ・内部研修として、講師を招き音楽・演劇に関する基礎と実践を学ぶ機会提供。
- ・外部研修として、人権・障害特性・支援技術・感染症などの必要に応じた研修機会の提供。

【その他】

ほづみのお宿（共同生活援助事業所）事業計画

【1. 所在地】

- ① ほづみのお宿 大阪府豊中市服部寿町1-3-5
電話 06-6864-8585
- ② うららのお宿 大阪府豊中市服部西町2-15-23
電話 06-6864-9000
- ③ いちごのお宿 大阪府豊中市服部寿町2-1-3-102
電話 06-6866-1332
- ④ すずめのお宿 大阪市豊中市服部寿町1-2-16
電話 06-6865-5381

【2. 入居者状況】

定員21名	現員数：女子14名	男子6名	
・ほづみ	定員5名	現員4名	【夜勤 あり】
・うらら	定員5名	現員5名	【夜勤 あり】
・いちご	定員2名	現員2名	【夜勤 あり】
・すずめ	定員9名	現員9名	【夜勤 あり】

利用者負担金 ※大阪府特別給付（家賃補助1万円）を各自利用。

・ほづみ利用料	32,000円（家賃）
・うらら利用料	16,000円（家賃）
・いちご利用料	30,000円（家賃）
・すずめ利用料	35,000円（家賃）

実費請求 （食費：食材費／食事延べ回数 1食費×実食数）
（共用備品：1カ月经費／利用者数）
（光熱水費：光熱水費／利用日数）
（行事参加費：実費）

【3. 組織体制】

- ① スタッフ体制 別紙 ②

・人材の確保と定着、支援者技術のスキルアップを図る。

【4. 事業開始月日】 平成18年10月1日

【5. 事業運営基本計画】

- ①利用者、保護者の意見を傾聴し、個別支援計画に基づいてニーズの実現を目指す。
- ②健康管理（加齢、既往症、肥満など）への留意と医療機関との連携を図り、健康な生活維持に努める。
- ③感染症(コロナウィルス、インフルエンザ、ノロなど)の対策とそれに伴う緊急時対応を具体化する。
- ④定期連絡会議（保護者合同会議・スタッフ連絡会・支援会議）による支援内容の課題把握を行い、共有した支援ができるように努める。
- ⑤各種福祉サービス事業所（行政・相談・居宅など）との連携による生内容の拡張、充実を図る。
- ⑥福祉防災士と共に、非常災害対策計画（火災・地震・台風・津波・洪水）を作成し、防災対策の徹底に努める。
- ⑦グループホームの住環境の課題、利用者ニーズの課題を整理し、住宅保を目指す。
- ⑧地域交流の場を作り、地域住民の理解や協力の確保を目指す。

【6. 利用者支援】

①生活支援

- ・利用者や家族が安心して生活ができるように、相談支援の充実を図る。
- ・健康維持に留意した食生活の確立を目指す。
- ・精神的に充実した生活を送ることができる生活環境を作る。
- ・感染症（コロナウィルス、インフルエンザ、ノロなど）や怪我や疾病において、適切な判断と対応が出来る知識や実践力を身につける。
- ・楽しさを通して入居者同士、また職員との信頼を深める場面作りに努める。

②余暇支援

- ・個々人にあった休日の過ごし方を提供する。
- ・季節行事、誕生日会の実施。

- ・居宅派遣事業所との連携（ガイドヘルプ利用）を深めメニューの充実を図る。

【7. 営業時間・年間行事】

(営業時間)	24時間	365日
(勤務体制)	夜勤	15:30～翌朝10:00 (原則)
	遅夜勤	20:00～翌朝10:00 (変則あり)
	朝	7:30～10:00 (変則あり)
	夕	15:30～20:00 (変則あり)
	休日日中	10:00～16:00

※各ホームの支援内容が異なるため、変則勤務体制となる。

※緊急（病気など）災害時

日中支援職員 10:00～16:00 (変則あり)

(休日利用) 週途中の休日（祝日、代休など）は開所とし、日中支援メニューを実施する。

(日課)

	生活内容
7:00	起床 (着脱・更衣・洗面)
8:00	朝食 (簡易な準備片付け・服薬・口腔ケア・清掃・洗濯)
9:00	
15:45	通所 (自力・同行・送迎車)
18:00	帰宅 (休憩・洗濯取入れ・買い物・散歩)
19:00	夕食 (簡易調理・配膳・片付け・服薬・口腔ケア)
21:00～	入浴・自由時間
22:00	就寝 (服薬)

令和2年度グループホーム年間行事計画

月	日	行事	内容	場所	参加者
4	中旬	季節行事 お誕生日会	お花見 お誕生日メニュー	ホーム合同 各ホーム	利用者 スタッフ
5	初旬	季節行事	端午の節句メニュー 日帰り外出（山南）	各ホーム ホーム合同	利用者 スタッフ
6	中旬	お誕生日会	お誕生日メニュー	各ホーム	利用者 スタッフ
7	7 中旬	季節行事 お誕生日会	七夕飾り、メニュー お誕生日メニュー	各ホーム	利用者 スタッフ
8	12~16	季節行事 夏季休暇外出	ソーメン流し 地域行事参加（夏祭り） 日帰り外出（風の杜）	ホーム合同	利用者 スタッフ
9	中旬	季節行事 お誕生日会	地域行事参加（敬老会） お誕生日会メニュー	ホーム合同 各ホーム	利用者 スタッフ
10	中旬	季節行事 お誕生日会	ハロウィンメニュー お誕生日メニュー	各ホーム	利用者 スタッフ
11	中旬	お誕生日会	お誕生日メニュー	各ホーム	利用者 スタッフ
12	21~31	季節行事 年末 冬季休暇外出 お誕生日会	クリスマス会 ゆず湯 年越しそば 外食、入浴など お誕生日メニュー	ホーム合同 各ホーム	利用者 スタッフ
1	~3 中旬	年始 季節行事 お誕生日会	おせち・寄せ鍋 初詣・七草粥 お誕生日メニュー	各ホーム	利用者 スタッフ
2	3 中旬	季節行事 お誕生日会	節分 お誕生日メニュー	各ホーム	利用者 スタッフ

3	3 30.31	季節行事	ひな祭り 外出・クッキング	各ホーム ホーム合同	利用者 スタッフ
---	------------	------	------------------	---------------	-------------

※その他 保護者を交えての食事会の企画

【8. 健康管理】

- ・健康チェック表（体温・排泄・生理・睡眠など）の作成により状態把握と情報共有を深める。
- ・食事管理によるメタボ・成人病予防に努める。
- ・服薬管理表の作成により、飲み忘れのないように周知徹底を図る。
- ・看護師を中心として医療機関への受診や相談などを迅速行う。
- ・年1回の集団定期健康診断と個別健康診断の実施。
- ・インフルエンザ予防接種の実施。

[9. 防災管理]

- ・福祉防災士と共に、非常災害対策計画（火災・地震・台風・津波・洪水）を作成し、防災対策の意識を高め、徹底に努める。
- ・年2回の防災訓練実施（火災・地震・不審者）
特に夜間における避難介助の方法を学び、夜間想定避難について意識強化を図る。
- ・防災設備やセキュリティなどの点検管理を行い、不備欠陥のないよう安全確保。
- ・近隣住民へのホームの理解と緊急時の協力体制作り。

【10. 地域交流】

- ・挨拶の励行
- ・ホーム周辺の美化
- ・地域行事への参加
- ・自治会、福祉ネットワークなどへの参加
- ・すずめのお宿の駐車スペースを有効利用し、こんにゃく、野菜、自主製品の販売を行い、地域交流を図る。

【11. 研修】

- ・必要に応じた施設内外研修の充実と、外部研修への積極的な参加環境を作る。
- ・防災研修（各ホームの防災マニュアルの具体化、避難体制、防災食など）
- ・グループホーム高齢者施設への見学
- ・人権・虐待についての研修